

* 天文情報センター大部屋前のジャンクコンテナの品々

天文情報センターにアーカイブ室が出来たのは平成20年(2008年)4月1日で2年半ほど前のことである。それ以来、いろんなルートで古い珍しい貴重なものが持ち込まれることが続いている。しかし、今回のニュースは誰がこのような状態にしたのか情報が無い。国立天文台天文情報センターの中心的な部屋である3階の大部屋の前に以前から一見クーラーボックスまがいのコンテナボックス(写真1)が放置されていた。



写真1 放置されていたコンテナボックス

このコンテナボックスはかなりの重量でたくさんのものが入っていた。このコンテナボックスは天文情報センターの総務から「クーラーボックスがかなり以前から放置されているので心当たりのものは片付けるように、また心当たりのものがない場合にはアーカイブ室が歴史的な貴重なものでないと判断するなら廃棄する」とのお触れが回った。

どうやら心当たりの人が現れないので筆者が中を改めるとなかなか面白い品々がたくさん入っていた。まずはそのリスト作成と写真撮影を行ったので報告する。この報告を見た人から心当たりがあらわれるかもしれない。

中に入っていたものは次のとおりである。整理して出てきた順に書いた。

- 1) Rittreck Hope 乾板カメラのフォーカス板 (写真1)
- 2) 1) のカメラの Plate Holder 3個 (写真2)
- 3) 1) のアダプターボード5点 (かわいいKODAKの袋に入った) (写真3)
- 4) Fuji Instant Holder PA-145 (写真4)
- 5) レンズ Carl Zeiss Jena Nr374037 Bplotar 1:4.5 f=25cm (写真5)
- 6) TOYO CUT FILM HOLDER 4x5 4個 (写真6)



写真 1



写真 2



写真 3



写真 4



写真 5



写真 6

- 7) 口径 10cm コンデンサーレンズ (写真 7)
- 8) POLAROID フィルムホルダー 箱入り 1 個 (写真 8)
- 9) TOYO-View カメラ (蛇腹が付いた本格カメラ) (写真 9)
- 10) 9) の TOYO-VIEW ピンとガラスセット (写真 10)
- 11) 9) の延長コラム (蛇腹伸縮用) (写真 11)
- 12) レンズ-R.S.K. C.P. Master 1:4.5 f=300mm (写真 12)



写真7



写真8

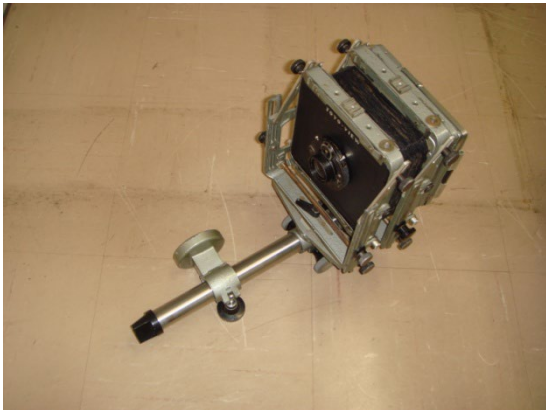


写真9



写真10



写真11



写真12

- 1 3) 乾板を使う大型カメラ (よく分からない) No. 13366 (写真13)
- 1 4) 1 3) の Plate Holder の取り枠 (写真14)
- 1 5) 1 3) のピントガラス部 (写真15)
- 1 6) 引伸ばしレンズ FUJIMOTO PHOTO CO. E=LUCKY No. 14015 (写真16)
- 1 7) POLAROID フィルムホルダー (はだか) (写真17)



写真 13



写真 14



写真 15



写真 16

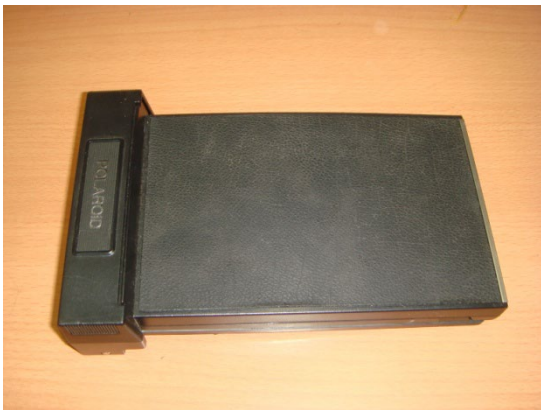


写真 17